

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 敗血症・敗血症性ショックに対する院内急変対応システムの介入効果：日本集中治療患者データベースを用いた多機関コホート研究</p> <p>●研究の対象 2015年度～2022年度の期間に日本集中治療患者データベース（JIPAD）に登録されている病院に入院された患者さん</p> <p>●研究の目的 敗血症の患者さんでは、早期発見・早期治療が基本であり、そのために院内急変対応システム（Rapid Response System, RRS）の取り組みが広がっています。しかし、敗血症の冠者さんに RRS が介入することで本当に予後が良くなるかは分かっていません。この研究では、JIPAD のデータを利用して、RRS が介入した敗血症の患者さんと、RRS が介入していない敗血症の患者さんで、予後に違いがあるかどうかを比較することを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2029 年 3 月まで</p> <p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 年齢、性別、BMI、退院時転帰、ICU 在室日数、在院日数、病名テキスト、主病名コード、副病名コード、ICU 在室中の治療、カテコラミン投与、慢性疾患の有無、各種重症度スコア、等</p>
<p>《利用する者》</p>	<p>●機関名および責任者名</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲》</p>	<p>浜松医科大学医学部附属病院 集中治療部 青木善孝</p> <p>●既存試料・情報の提供機関 日本集中治療医学会 JIPAD ワーキンググループ</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>特定の個人を識別できない状態に加工されたデータを利用した研究ですので、あなた自身のデータを個別に抽出することができず、本研究への情報使用について停止はできません。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。ただし個人の結果については、特定の個人を識別できない状態に加工されたデータを使用しているため、開示できません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>個人の情報は特定できないため、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 集中治療部</p> <p>担当者： 青木善孝</p> <p>TEL： 054-435-2111</p> <p>E-mail： ysaoki27@gmail.com</p>